

藤樹書院・良知館通信 ⑫

「己に如かざる者を友とする母れ」

志村 洋

前回に続いて藤樹先生の「論語解」を取り上げます。先生が論語から選び出された全九章の第八章目です。

「子曰く。君子重からざれば則ち威あらず、学ぶも則ち固ならず、忠信を主とし、己に如かざる者を友とする母れ。過ちては則ち改むるに憚ること勿れ。」(学而)

先生(孔子)が言われた、君子はおもおもしくなければ威厳がない。学問すれば頑固でなくなる(まごころの徳である)。忠と信を第一にして、自分より劣つたものを友達にはするな。過ちがあれば必ず改むるに改めよ。(余英治訳註「論語」から)

藤樹先生は、君子広く学を為す者であるとして、次のように言われます。「重からず」とは、心が安定せず、軽率で浮かれ躁ぐことであり、「威厳あらず」は視聽言動が鄙倍(心が卑しく道に背く)暴慢で畏れを象に出来ないからである。心が軽くなつて視聽言動を制御出来ずに威厳を失うのは、意必固我の意念に捉われるからである。「固ならず」とは意必固我があれば、講習討論しても己を奪われ、一撃で粉碎される軟弱なものに終わるのだと、独自の解釈をされます。

意必固我に捉われるのは凡夫の心である初学の通病であるが、その意必固我を取り去って、無病の本体に帰るには忠信を主とする事が必要で、この章の主意はそこにある。忠とは中立不倚(偏りが無い)の本心、信は純一無雜の実心(忠の表れ)である。忠信を主とすると雖も、師友に従遊して切磋琢磨の功を積まなければ徳に進む事が出来ないで、「己に如かざる者を友とする母れ」の一句を挙げて、師友の交わりが大切であると、孔子は教えられるのだと先生は言われます。「己に如かざる者」については自分より劣つた者とするのが通例ですが、友とするのは興に学を為す者であると先生は言われます。

初学から聖人に至るまで学問の功は、過ちを改め、善に還ることにあつて、過ちとは心を無くして理を失う事、それを改めるとは本体に帰ることである。憚る勿れとは他を顧みることなく勇猛に進脩せよと言う事だが、ともすれば学ぶ者は過ちを改める難を畏れて疎かになる。これも学ぶ者の通例である。この病根がある限り、師友に従つて講論しても一場の説話に終わってしまう。過ちを改めるに憚る勿れと説かれては百病の根を切る為であり、学を志し、師に従い、友と交わり、その師友の交わりを日々に深める事が従来(の過ちを改める事に繋がるのだと、先生は言われます)。

藤樹書院に掲げられたという「学舎座右銘」に「同志の交際は恭敬を以て主となし、和睦を以てこれを行

うべし。一毫も自ら便利(都合がよい事)を択ぶ可からず。猥(争う)して勝たんことを求む勿れ、淫(みだら)嫖穢(けがす)戯(たわむれ)慢(あなどり)にして女色を評論するべからず。動作、義なかるべからず。里巷の歌謡、俚近の語(流行りの唄や噂)、これを口より出すべからず。宜しく徳業に相勤め、過失、相規すべし」などとされているのは、諸生の中にそのような者がいたからでしょう。藤樹先生が、君子を広く学を為す者とされるのは、その彼ら諸生に己に如かざる者であつて生涯の友は得られないと厳しくも優しく戒められるのがこの章の解です。

賛助会員一覧

★新規賛助会員のご紹介

令和三年七月末日までに、新しく本会にご加入いただきました賛助会員をご紹介します。ご加入ありがとうございます。

- 富士包装紙器株式会社
(蒲生郡日野町)
- 株式会社ナカサク
(湖南市高松町)
- 株式会社リンクス
(大阪市北区池田町)
- 株式会社オミツ
(高島市勝野)

★既加入の賛助会員一覧

- ご協力ありがとうございます。
- ウエストレイクホテル可以登楼
- 税理士法人 淡海総合会計
- 大津公証人会 白髭博文

- 大溝工業株式会社
- 株式会社 大山建設
- 岡本アルミ建材株式会社
- 川島酒造株式会社
- 川島織布株式会社
- 株式会社 Growls
- 株式会社 桑原組
- 有限会社 宏和商事
- 税理士法人 小畑会計事務所
- 佐治タイル株式会社
- 株式会社 澤村
- 株式会社 シングマックス
- 有限会社 白浜荘
- 新旭電子工業株式会社
- 杉橋建設株式会社
- ソエダ株式会社
- 高島鋳建株式会社
- 田中マネジメント事務所
- 株式会社 TADCO ポレイション
- 鉄屋商事株式会社
- 寺子屋まなごし童心塾
- 有限会社 天平フーズ
- 株式会社 戸井薬局
- とも栄 藤樹街道本店
- ナカソウヨウ株式会社
- 株式会社 中田運送
- 株式会社 中村測量設計
- ニツケイ工業株式会社
- 八田建設株式会社
- 戸次会計事務所
- 有限会社 馬場塗装
- 株式会社 ホリゾン
- 株式会社 ヨシダヤ
- 有限会社 綿庄食品店